

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

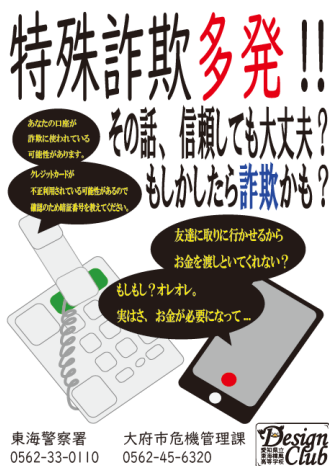
1 団体名	愛知県立東海樟風高等学校デザイン部
2 事業名	特殊詐欺防止電話機の普及促進事業
3 事業実施結果	<p>1 本事業の経緯</p> <p>メディアで取り上げられているように、特殊詐欺の被害は年々増加しており、その手口も複雑化や巧妙化している。最近では SNS を利用した闇バイトやロマンス詐欺が社会問題になって取り上げられることも多いが、オレオレ詐欺のような固定電話を使った詐欺被害も決してなくなってはいない。</p> <p>デザイン部の活動時間に東海警察署・生活安全課に講演をしていただき、その中で実際の特殊詐欺の電話の音声を聞くことで、生徒に関心を持たせることができた。高校生にとっても決して他人事ではなく、身近な人が被害の当事者となるおそれも十分にあることを感じてもらった。</p> <p>東海市と大府市では詐欺被害対策として「迷惑電話防止機能の付いた固定電話」の普及促進を図っており、特殊詐欺の被害に遭わないように注意していただこうと補助金を出している。そのことを少しでも周知する手助けができるように、愛知県立東海樟風高等学校デザイン部の生徒が自主的に特殊詐欺防止啓発ポスターを制作することにした。</p> <p>完成したポスターは補助金の周知と特殊詐欺防止の注意喚起を目的に、多くの人に見てもらえるように関係各所に掲示するものと、各家庭へ配布することを検討することとした。</p> <p>2 東海警察署との打ち合わせ</p> <p>東海警察署の地域安全課と打ち合わせをしたところ、若者世代の地域防犯活動として高校生が作成したポスターやチラシを制作することが決まった。デザイン部の生徒1年生が複数のデザインを考えさせたうえで、東海警察署、東海市役所、大府市役所に配布するデザインを決めてもらうこととした。</p>



ポスターを作成する風景

3 ポスターの作成

東海警察署から、ポスターの内容について「特殊詐欺の被害に遭わないことと、市の助成金事業を市民に知ってもらう内容にしてほしい」という要望を受けた。その要望に沿うデザイン案をデザイン部の1年生に考えさせた。完成したデザイン案を東海警察署に提示し、東海市と大府市からの修正を加えたうえで完成させた。



3 事業実施結果



完成した5種類のポスター・チラシ

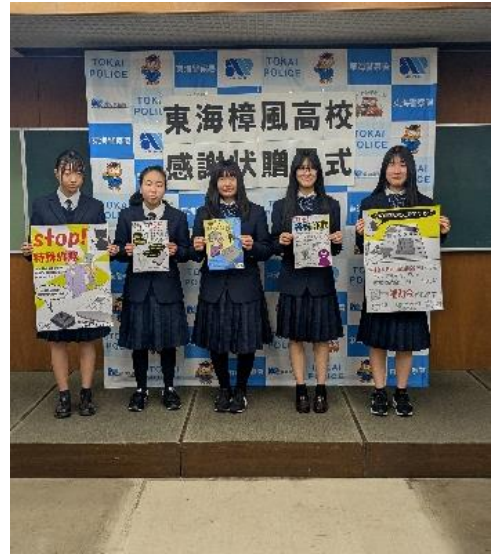
4 東海警察署から感謝状を贈呈

東海警察署において、本事業に対する完成披露会と感謝状贈呈式が開催された。

贈呈式には、デザインを担当した愛知県立東海樟風高等学校デザイン部の生徒5名が出席し、報道機関からのインタビューを受け、その内容は新聞やテレビなどのメディアで取り上げられた。



東海警察署長から感謝状の贈呈



デザイン部の生徒で記念撮影



報道機関から取材を受ける状況



報道機関から取材を受ける状況



知多メディアスで放送された映像



知多メディアスで放送された映像



知多メディアスで放送された映像



中日新聞に掲載された記事

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>完成披露会からの日が浅く、目に見える実施と成果はまだありません。東海警察署からは特殊詐欺の被害は、東海市でも令和6年度は3億円以上の被害が確認されていることを伺った。これからは東海警察署、東海市役所、大府市役所に啓発ポスターを掲示し、東海警察署にご協力いただき、各イベントでチラシの配布を行っていく予定である。</p> <p>課題としては、特殊詐欺は年末年始に増えている傾向があるようなので、できれば10月ぐらいには完成をして啓発活動が行えるとよいと思う。また、迷惑電話防止機能付き固定電話を販売している機関とも連携を図れるとより周知ができると思う。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>今後は、東海警察署、東海市役所、大府市役所にポスターを掲示し、特殊詐欺防止の啓発につながることを期待する。また、東海市と大府市では「迷惑電話防止機能付きの固定電話」に対する補助金制度があるので、ポスターやチラシを見て少しでも普及活動につながり、特殊詐欺に遭う人が減少していくことも期待する。</p> <p>今回は地域自主防犯活動活発化事業に参加させていただき、特殊詐欺防止について取り組みを行った。特殊詐欺も様々なパターンがあるので、このような事業を通して啓発活動を行えばよいと思う。</p>
----------------------------------	---